

# Freude

vol.9-1 2016.11.9.wed

# うたの仲間あつめよ

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626  
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B  
ホームページ <http://www.osakafreude.com>  
メールアドレス [info@osakafreude.com](mailto:info@osakafreude.com)

## さあ！ ヴィヴァルディ、ケルビーニ、はじめまして！

10月28日おつかれさまでした！

シューベルトってこんなに素敵だったんだ！というお客様の感想をいただいて、嬉しい限り！  
いっぱいしんどいことを乗り越えて、みんなでステージを迎えられてよかったですっ！

さあ、いよいよ「ヴィヴァルディ&ケルビーニ」です。

フロイデとしては初めて！また、一般的にも、ヴィヴァルディは「四季」しか知らない人も多いでしょうし、ケルビーニを知らない人も多いでしょう。ケルビーニはベートーヴェンより10歳上、ベートーヴェンが大尊敬し、特にケルビーニの荘厳ミサに感動して、自身も荘厳ミサを作曲した、というくらい、当時、最高の音楽家とされた人なんです。ヴィヴァルディのアカースティックなバロックの空気、ケルビーニのファイトが湧くフーガの数々、なんとか、たくさんの人と、この音楽をつくりたい。この音楽との出会いの機会をプレゼントしたい！

そこで、2つの提案をしたいと思います！

## キャッチフレーズ大募集！チラシで団員をキャッチしよう！

ほかのチラシと混じっても関心を持てるように！うたいたい、と思えるように！「歯ごたえのある練習でやりがいをも！」「そんじょそこらの達成感とはちがいますっ！」「ベートーヴェンが尊敬したあの音楽！？」等々、11/16締切！採用者には10/28記念のサイン色紙をプレゼント！

## 中学生高校生を団費1000円で！

お子さんお孫さんお友達で、中高生で、うたってみたい知り合いはいませんか？大阪フロイデは中学生以上、といいながら、実際にはハードルが高いかも。ということで、今回、1000円で試行してみることにします。ケルビーニでは「男声合唱」があります！ぜひ、増やしたい！（団費以外の団員条件は、変わりません。）

とにかく、こんなに楽しくてしんどくて、でも飛びきり幸せな達成感、ほかには無いよ！

ちょっとでも団員を増やしたい！考えられること、全部やろう！

Alto is.



11/16(水)  
18:30~  
堀江ホール

11/23(水・祝)  
13:15~  
港区隣センター  
(朝津南橋)

11/30(水)  
18:30~  
堀江ホール

12/4(日)  
1万人の  
フォーシマイ!!



## 1) 音楽会振り返り

## ① 団員数

	ソプラノ	アルト	テノール	バス	合計
前回からの継続数	20	40	9	10	79
募集締切時	25	44	10	11	90
最終ステージ人数	23	42	10	10	85

## ② チケットの販売実績と入場者数

◆ チケット代は、団内、S4500円、A4000円、(チラシ価格は、各500円増し)、団内最低ノルマS3枚

	S	A	合計	
全座席数	705	116	821	
団内	629	57	686	前回は815
当日窓口	1	2	3	
有料拡大数合計	630	59	689	前回は820

入場者数	557	52	609	前回は733
うち招待者	9		9	

団内予約686のうち、先生方の予約19枚。団員分は667枚。団員平均は7.8枚

パート平均では、S4.9枚、A8.9枚、T7.3枚、B9.3枚

3枚団員24名！「最低ノルマ」の意味を掃き違えていないか？全員がノルマ止まりでは音楽会成立しないんですよ！

③ 打上パーティ・参加人数合計41人⇒有料:36人 招待5:亀井先生・田中先生・坂口先生・八木先生・清水先生  
・総額:144,000円(収入124,000円、招待分20,000円→団会計より補てん)

④ 反省・・・演奏会、練習、運営、モロモロ。当日出席者の意見+団員振り返りアンケートでの意見より。

## ● 演奏会(演奏)／

- ・今回もいずみホール&大阪チェンバーオーケストラ&現在のフロイデの規模などが、非常によいバランスだったと思う。
- ・発散型ではなく、ちゃんと丁寧に、聴いていただける音楽をつくる大阪フロイデ合唱団のスタイル、となってきたと思う。
- ・お客様の評判も上々だった。「モーツァルトの知っている曲」に喜んだ声も多かった。大阪チェンバーの室内楽がすてき。
- ・男声が(見た目の少なさ)に対して、声としては全体のバランスは悪く無い、とのおほめの声をお客様から多数。
- ・ソリスト素敵だった。坂口先生すばらしい！山田先生はとっても素敵なアルト、歌う部分が少なくてザンネン。
- ・坂口先生がピアノの音量で声を出す前に体中を準備して空気を取り入れていらっしゃる姿を見て、自分を反省した。
- ・お客様の中には「ミサ曲ばかりではなく、ほかのも」という声もある。実際、規模と状況で適切な選曲となると限られる。「ピアノ伴奏で唱歌」は他団でも多い。フロイデでは「オーケストラと一緒に“憧れの”ホール」は、死守したい。「ミサ曲」が宗教曲、というよりも、お祝いの曲、明るく変化に富んだ曲、ということをお客様にも伝えていこうにしたい。
- ・シューベルト3番の終曲の「Dona nobis pacem」のテンポがゲネで突然ゆっくり(それまでの高速テンポではなく)になったので、対応がタイヘンだった。テンポはいろんな状況で変わるので演奏側は指揮に応じるのは当然だがそれなら、練習時に、もっといろんなテンポでの試しをしていただきたかった。あの部分は、けっこう譜読み初期から高速テンポだったため、テンポに合わせることを優先で、部分的に小節を歌わないことにしていた部分もあった。もし、いろんなテンポで練習してもらっていたら、もっと、いろんなアプローチができたように思う。ザンネンだった。
- ・シューベルト3番「Dona nobis pacem」は、必死で指揮を見た。

## ● 演奏会当日のこと(演奏以外のモロモロ、事務方その他)／

- ・チラシ挟み込み作業や、ロビー片付け作業など、スムーズだった。事前に具体的に担当者を決めておいたのがよかった。
- ・笠置さんやOBOGに、いろいろ頼んで裏方で動いてもらった。安心して演奏できた。ありがたかった。



## ● 練習面(本番の演奏に至るまでのこと含む)／

- ・ 亀井先生に「シューベルトの3番は、こんなイメージ、2番とはこんなふう、色を変えたい」等々、全体の音楽の映像をもっと語っていただきたかった。ひとつひとつの「短く！長すぎる！でかすぎる！」等のご指摘を自分で修正するにしても、その指摘を修正することが、全体のイメージを形成するために必要なことだ、というイメージを持てるとよい。先生は「自分で考えろ！」とおっしゃるが、先生のイメージも伺えると、自分のイメージもふくらむと思う。
- ・ 日曜練習時の「分かれて練習」が初期にあったのがよかった。他パートを待たずに、たくさん声が出せる。
- ・ 田中先生の練習日がありがたかった。亀井先生に指摘されて、直したいのにどうすればよいかわからなかったのを、田中先生が、歌うときのイメージの持ち方など、亀井先生の指摘への対応を、歌い手側のコトバで説明して指導していただけたので、少し道が開けた気がした。テクニックもそうだが、気持ちで声が変わることを発見した。
- ・ (ソプラノより)田中先生の個人発声よかった。短時間だが、自分の問題を個別に指摘していただいた。できなかったことができるようになると、練習へのモチベーションもあがる。
- ・ 男声も田中先生の個人アドバイスが欲しい。人数が少ないので、ひとりひとりが必要な声を出すことが重要なのに、亀井先生の指摘を正しく理解できず修正もできず、邪魔な声になって、結果、歌わない部分が増えたりする。自分ができていない、ということに気付いていない人も多い。「アナタができていないよ」と気付かせれば直せるのに、非常にもったいない。ちょっとのアドバイスで、自分で注意できるようになるメンバーも多いと思う。おねがいます。
- ・ 譜読み時期は、どんなに音が簡単なところでも、必ず、一度、ピアノで単音で弾いていただけると助かります。
- ・ 「暗譜」でよかった。暗譜していなければ、テンポの変化に対応できないところだった。

## ● 団員のマナー・態度面／

- ・ 団員の練習態度がひどい。私語も多い。前で人が伝達しているのに、ひどい。「自ら動く」練習になっていない。時間になっても、スタンバイが遅い。休憩が終わって整列するのに時間がかかりすぎ。そんなんで楽しいか！？遅刻者は気を遣うべし。会場に急いで入る以上に静かに入ることを心掛けよ！列に入るタイミングも見計らうこと。
- ・ 緊張感をつくるのは、ひとりひとりの緊張感です。自分はちゃんとしてる、と思っている団員が、関係無い、と思わずに、緊張した空気を作ってほしい。誰かが注意するのを待っている態度自体がよくない、ということを感じてほしい。
- ・ 本番当日、集合時の団長伝達で「発声前に出入りの練習をするので、まず楽屋でシート通りに並んで」と言ったのに運営委員が全体の最後の方で楽屋にたどり着くと、女性は誰ひとり並んでいなくて座っていた。信じられない。すべきことはわかっているし、時間もすぐ、ということにはわかっているのに。そんなんで嬉しいか？
- ・ 団員同士も、普通の気づかいを持って。「練習時、自分の荷物の上に、勝手に荷物を置かれていた」「自分がコートをかけたハンガーの上に、他の人がかけていた」などの声あり。場所も椅子も少ないので、譲り合いが基本だが、置くなら「ひと声かける」マナーが必要。誰のかわからなかったら上に置くべきではない、自分がされたらイヤでしょ？基本は、各自「床に置いてよい準備」で臨んでほしい。こんなことを言わなければならないことが情けない。
- ・ なんと、ゲネの途中で(オケゲネ中を、合唱団は客席で待機しているとき)ソリストにサインをお願いする団員が居た。見ていた団員がすぐにPMに連絡、嚴重注意したが、それにしても、言語道断！前代未聞！主催者が当日に、しかもゲネ中に！？自分も他の出演者もちろんソリストも、演奏に向けて集中している時間を、どう思っているのか？常識だと思うが、、、。団長も、まさかそんな団員が発生するとは予想しておらず、前もっての注意をしていなかったが、、、そんなことまで、わざわざ前もって注意などしたくない。ここに居る団員は、そんなこと、当然わかっている、と信じたい。

## ● 運営面／

- ・ 運営に関わってくれる人をもっと増やしたい。運営委員会に顔を出してくれているメンバーも、役割を明確にするほうが動きやすい、という声もあるため、調整予定。
- ・ チラシまきを仕切ってくれていたバス伊藤さんが体調不良で休団中のため、実質のチラシまきができていない。早急に、だれか担当を依頼する必要がある。
- ・ フェイスブックを始めたのはよかった。チケットなどもフェイスブックから問い合わせしてきた人もいた。
- ・ 演奏会当日など、団長初め運営委員は、いろいろ係で動いているので、団員は自主的にすべきことを声掛けあってほしい。
- ・ 団員への声掛け(心細いひとへの声掛けや、お互いに名札をつけること、また、私語の注意等)も運営委に頼らずに。
- ・ お互いに顔と名前をもっと一致させたい。お互いに声をかけたり、気をつけあったりするの、仲間意識が希薄だからでは？グループ名艦での写真掲載はよかった。名艦担当に工夫してもらおう。名札の徹底を行う。



● 収支面／

- ・演奏会赤字。チケット130減。ハロウィン前の月末金曜日の設定が大影響。今後は日程は慎重に。日程の難しさがあつたため、今回の結果で、チケットの売れ行き困難による存続困難、という結び付け方はしない。
- ・演奏会日程により、売りにくかったのは全員同じ条件だが、今回とくに、すごくがんばる団員と、3枚ギリギリが、二分された。3枚は、最低レベルであつて、821席を埋めるには、本来なら一人10枚売るべきであるところ、きっちり団員数で割ってしまうと、顔の広いひとがもっとひろめたいのができなかつたり、実際にはひろめられない人がおカネだけ払って空席ができてしまつたり、ということではよくないので、最低数を設定し、全員がそれ以上の枚数をがんばる、という意味合いがあつたのが、掃き違えていないだろうか？
- ・チケットは、もっと「危機状態」の見える化も工夫すると、団員も発奮するのでは？
- ・日常収支は、実質的には赤字だが、音大を練習にお借り出来たり、事務所の古いCDや書籍を売つたり、でカツカツ。
- ・また、本番前2カ月を除いて、水曜練習はアルテ利用、また、亀井先生田中先生に、練習計画をたてていただき休日練習で「分かれて練習の日」を決めていただき中規模2室の会場予約、など、効率化できたのも、助かつた。
- ・演奏会収支ではチケットを完売する、日常収支では団員数を増やす。これしかない。家族割引(二人目は3000円)、学生割引(3000円)をもっと呼びかけてはどうか。

2) これからの取り組み

- 日程 2017年6月21日(水)いずみホール ・オケ合せ:6月19日(月)どっか区民ホール終日
- 曲目 ヴィヴァルディ「グロリアミサ」、ケルビーニ「荘厳ミサ ト長調」
- 出演 大阪チェンバーオーケストラ、独唱:S/石橋栄実、A/福原寿美枝、
- 団員数→継続/S17+A41+T10+B9=77…ケルビーニは男声合唱あり！男声増やさないとツライ！  
新規申込者→現在、問い合わせは2名のみ
- 練習会場→団を維持するには、アルテも使って行かないと難しい。此花区民の「第4&5会議室」もリーズナブル。
- 販売物→楽譜/ヴィヴァ1400円、ケル2800円 練習CD/ヴィヴァケル=500円
- おおまかな運営関係日程予定
  - 新人歓迎懇親会:1/22予定
  - 運営アンケート:日程:12/7~1/4 締切(まとめ:前田さん)→1/13の運営委員会で検討できるように
  - グループミーティングの開始:グループ名鑑作業に応じて開始日を決める。(名艦リーダーの河野ゆかりさんと相談)
- 健全収支にするために。
  - ・いずみホール使用料第1回支払いが4月。演奏会経費は、満席必死でできれば、イケルかも、だが、日常経費(収入=団費=団員数が少ないと直撃!)は、瀕死状態。先生方に練習の工夫をしていただくとしても、ステージ時90名が最低ライン、ということは初期100名は超えないと、その時点で「解散」も冗談ではなくなる。
  - ・事務経費はけっこう底値まで絞って来ている。こんごについては、先生ともご相談していく。
- 団員募集のために！
  - ①「一万人の第九」チラシまき大作戦！12月4日(日)大阪城公園・噴水廻りに17:30集合！  
11月9日から練習が始まり、譜読みの分量から言っても、早く団員数を確保して締めきりたいところですが、少なくとも年内は「進んでいることを理解して頑張れるなら」入団可能にしたいです。「一万人の第九」は勧誘のチャンス！チラシまきのメッカで印象に残るために「キャッチフレーズ」を盛り込んだチラシにしたい！  
11/9キャッチ募集・11/16キャッチ締切&チラシ印刷・11/23チラシをチラシまき参加者が持ち帰る。12/4チラシまき！
  - ② 中学生高校生団員勧誘特別企画「中高生なら団費1000円！」  
高校や中学にチラシを貼ってもらうのは難しいので、まず団員に呼び掛けて、お孫さんお子さんなど、誘ってください！
- 団員同士もっと名前を覚えよう(神戸は全員が自己紹介をするらしい、、、)
  - ① 名札徹底！忘れた人は、会場で書いて、セロテープで貼ってもらいます！自由にアピール名札、歓迎！
  - ② グループ名艦ができたときに、各グループごとに「立って拍手」を行う。
- 次回運営委員会 2016年12月2日(金) 次々回運営委員会 2017年1月13日(金)

チラシまきの旗振り役急募!!  
遅くとも年内には団員をターゲットに旗振り、  
第九シーズンにチラシまきの旗振り、  
770